

物流強化トレーニング

物流強化トレーニングの目的

QUNIE ロジスティクスのコンサルタントが物流基礎ならびに物流改善/改革の手法について実践を交えてわかりやすく解説し、貴社の物流強化を支援いたします。

物流の課題

- ✓ 物流が複雑
- ✓ 物流がブラックボックス
- ✓ 物流のインソーシング



課題に対応するスキル/ノウハウがない

必要なアクション

物流のスキルアップ



物流強化トレーニングの特長

当社コンサルタントが講師を担う物流強化トレーニングでは、幅広く物流基礎知識の習得ができるとともに、物流改善/改革手法を実践を通じて学ぶことができます。

✓ 写真や図を多く用いた説明

荷役器具 (3/5)

パレット

- 平パレット: フォークなどの差込口をもつパレット
- ボックスパレット: 上部を連続してつなぐ必要の部品を削減し、積字状などをきつめにつなぐことで、その構造には固定式、取外し式、折たたみ式、樹脂製などがあり、さまざまなタイプがある
- サイロパレット: 重くても荷役作業のみに使われ、密閉性の高いものも少なく、開閉装置があるパレット

保管機器 (4/4)

フローラック

パレット単位またはケース単位で、無人あるいは有人により保管する、仕分けやオーダーピッキングが可能。

✓ 物流機能を定義から理解できる内容

保管とはバッファーです

保管の定義

- 生産から消費までの工程の中で、モノが経済的かつ効率的に流れるための1つの機能を指す。一般的に保管自身はもた加工等の遅延がな重宝を付加するものではなく、時間の調整機能である。

ロジスティクスと物流 (1/2)

ロジスティクス≠物流 → ロジスティクス≠物流

ネットワーク全体のキーコストに占める運送に注力し、輸送の遅延、減損、品質低下のリスクを減らす

ロジスティクス

✓ あらゆる物流のかたちに対応した内容

ピッキングフロー (1/4)

シングルピッキング

1. ピッキングのオーダーをシステムに入力してピッキング指示を出す。 2. 指示された品をピックアップしてピッキングが完了する。 3. 梱包後、出荷パースする。

ピッキングフロー (3/4)

パッチピッキング

1. 指示された品をピックアップしてピッキングが完了する。 2. 指示された品をピックアップしてピッキングが完了する。 3. 梱包後、出荷パースする。

✓ 多数の事例を用意

② 輸配送事例2 (物流ネットワーク・輸配送ルート・積付の最適化)

大手飲料メーカーでは、実行系領域SAP、計画系システム、倉庫管理システム(WMS)が輸送管理システムと連携し、パレット作成最適化、トラック積込最適化、配送ルート最適化を実現。

③ 物流管理事例1 (大手製造業向けデジタルKPI構築策定)

将来的なデジタルロジ(センサー・ロボット-AI等)の適用までを見越したデジタルKPI管理情報構築案・導入ロードマップ策定までを実施。

✓ 多数の演習を用意

演習3

下記条件をもとに保管料を計算しなさい。

8月末時点での在庫数は20個
 9月9日までに10個入庫した。
 9月11日に20個、9月12日に5個出荷した。9月18日に10個入庫した。
 9月20日に10個、9月30日に8個入庫した。9月30日に全量出荷した。

3期制で保管料は1個当たり900円。

在庫配置の検討

答) 第1期 ABC社では下記の位置に拠点を設置することを決定しました。

✓ 物流の現状と今後を多面的に解説

求められる高い変革受容度

企業をとりまく環境へ適合する為、変革受容度の高いロジスティクスの構築が求められています

予測不可能な需要

サプライチェーンの透明化、情報共有による予測可能な在庫管理による需要変動

多様化する商品

ITインフラの期待 (ITインフラ)

基本機能である倉庫・輸送管理機能以外にも、将来的には、サプライチェーン全体の可視性をWEBベースのランニングが期待されています。ITO推進としては、自社業務が自然と大きく広がっており、また米国においてもITインフラは進みすぎているとさえ考えられます。

物流強化トレーニング一覧

物流に関する基礎知識を体系的に学ぶことができる内容を用意しています。トレーニングの内容は貴社のニーズに合ったものを組み合わせることが可能です。

メニュー	講義名	内容	詳細	日数
基礎講座	・ロジスティクス概論	・ロジスティクスの定義と果たす役割	・「ロジスティクス」と「物流」の定義とその違い、その果たすべき役割について	2日
	・3PL	・ロジスティクスビジネスモデルの進展	・物流アウトソーシング受け皿の3PL進展について ・求められる3PLビジネスモデルについて	
	・梱包・包装	・包装の定義、機能と階層	・包装に関する用語を共通認識化し、包装の定義と、エココストへの対処について ・階層別包装の概要について	
	・保管	・保管の定義、機能と役割	・保管の概要、倉庫管理のポイントについて ・倉庫の歴史ならびに役割の進展について	
	・荷役	・荷役の定義、役割と手法	・荷役（仕分け、ピッキング作業etc）について ・主要マテリアルとピッキング手法の概要について	
	・輸配送	・輸送モード	・トラック・鉄道コンテナ・船舶・航空コンテナ等、各モードに及ぶ輸配送の概要について ・モーダルシフトについて。輸送と配送の違い、またそれらに求められるものについて	
	・情報システム	・WMSとTMSの概要	・日常オペレーションとシステムの関わり、保管や荷役の詳細について	
改革手法 + 実践	・ロジスティクス戦略	・経営戦略とロジスティクス戦略	・経営戦略における機能別戦略としてのロジスティクス戦略について	3日
	・ネットワーク	・ロジスティクスネットワーク	・物流（輸送・保管・荷役・包装・流通加工etc.）とネットワークデザインの関係性と仕組みについて ・ロジスティクスネットワークとSCMについて	
	・輸配送コスト ・センターコスト ・管理コスト	・コスト演習実習・コスト分析実習	・物流コストを分析する手法について ・宅配運賃・路線運賃の計算方法について ・ABC（Activity Based Costing）活動基準原価計算の活用について	
	・施策案策定	・課題リスト化 ・施策リスト化 ・施策オプションリスト作成 ・施策案策定 ・KPI設定	・物流強化トレーニングを通して得た現状分析結果を基に現状の課題をリスト化 ・その課題に対する施策をリスト化し、効果、スピード、コスト、リスクなどの観点からオプションリストを作成し、総合的な視点で施策案を策定 ・他社事例を参考に最適なKPIを設定	

サンプル

Why QUNIE ?

QUNIE ロジスティクスに所属するコンサルタントは、事業会社での実務経験と主要コンサルティングファームでのプロジェクト経験を持ちます。経験と知識、コンサルティング技法を駆使して価値の提供に努めます。

<QUNIEの優位性>

Commitment

QUNIE ロジスティクスのコンサルティングは「結果」を出すことをコミットします。また、ソリューションが定着することを絶えず志向してサービスの提供にとめます。

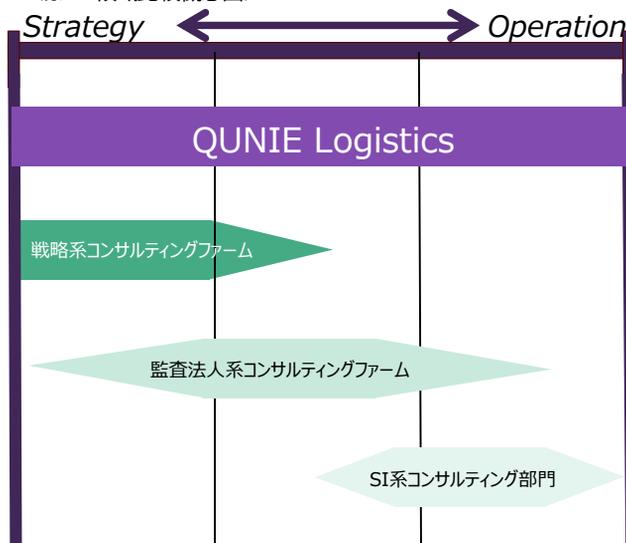
Collaboration

クライアントから独立してプロジェクトチームを組織するのではなく、One Teamを組織してコンサルティング業務を行います。これは、クライアントのナレッジ蓄積にも繋がります。

Quality

QUNIE ロジスティクスに所属するコンサルタントは、物流経験とコンサルタント経験をあわせもつ者だけで構成しています。プロフェッショナリズムの追求で高品質で生産性の高いサービスを提供します。

<カバー領域比較概念図>



株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
 TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
 Email: info@qunie.com http://www.qunie.com

Trusted Global Innovator
 NTT DATA Group

NTT DATA